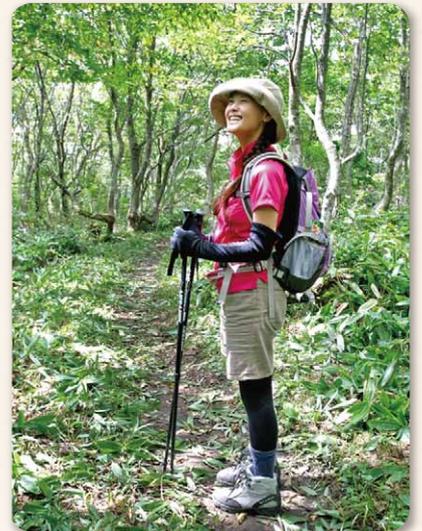


概要版

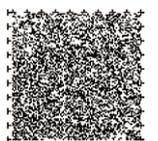
第4次 広島県環境基本計画

平成28(2016)年度～平成32(2020)年度

環境にやさしい広島づくりと次代への継承
～エコの力でひろしまを元気に～



平成28(2016)年3月



これは音声コードです。
目の不自由な方への情報提供を目的としています。

基本理念

「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」

～エコの力でひろしまを元気に～

計画策定の新たな視点とポイント

新たな視点

環境に関する特性が異なる都市・沿岸・山間のエリアごとに目指す姿を構成する行動・ライフスタイルを提示

ポイント

- 1 環境への負荷の少ない持続可能な地域社会づくり
- 2 本県の地域特性や強みを生かした施策の展開
- 3 地域課題の解決に資する環境施策による「環境・経済・社会」の統合的向上

基本理念を実現するための施策体系



目指す姿

環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築

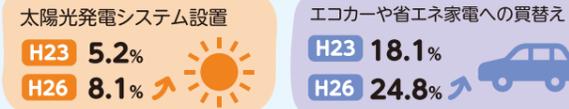
地域課題の解決に資する環境施策の新たな展開

現状

県民の環境に関する自主的な取組状況 (広島県政世論調査)



取り組みやすいものは6割前後の県民が取り組んでいる。近年は横ばいの状態。

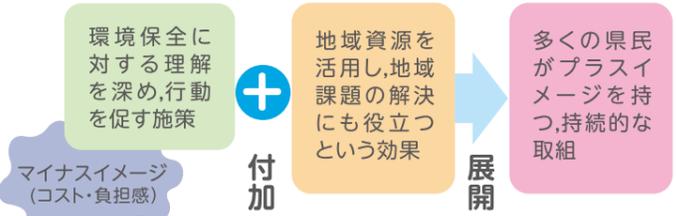


経済的な効果が得られるような取組は増加傾向。

環境問題と地域課題の関わり

- 地域課題が大きな社会問題に
 - ・里山里海の荒廃,地域コミュニティの衰退など
- 一方で,地域課題には環境問題と関連するものが存在
 - ・里山の荒廃が森林の持つ環境浄化機能の低下を招くなど

今後の環境施策の新たな展開



施策展開の基本的な考え方

里山里海の荒廃,地域コミュニティの衰退,地域経済の疲弊などの地域課題の解決にも資する環境施策を展開

基本的な視点

- 1 環境施策に経済的価値や心の豊かさなどの付加価値を持たせる。
- 2 県民の自主的な活動を促進する。
- 3 地域特性を生かした小さな成功事例をつくり出し,活動を継続させて,面的に広めていく。

エリアに応じた自主的な環境活動の展開イメージ



目指す姿を構成する行動・ライフスタイル

県民一人ひとりに実践していただきたい行動・ライフスタイルを提示します。これは、環境に関する特性が異なるエリアごとに具体的に示すことで、その行動を促し、基本理念の実現につなげていくことを目的としています。

基本となる行動・ライフスタイル



1 地域経済や地域コミュニティの活性化など地域課題の解決にもつなげる環境の取組が実践され、県民による持続的・継続的な環境保全活動が進んでいます。



3 豊富な日射量を生かした太陽光発電や廃棄物などの未利用エネルギーの活用が普及しています。

2 エコカー、省エネ家電、省エネ住宅など化石燃料やエネルギー消費の少ない商品や設備の普及が進んでいます。



4 身近なところから緑化活動が進み、快適な生活空間が確保されるとともに、地球温暖化の緩和にも貢献しています。

5 廃棄物の積極的な3R(発生抑制,再使用,再生利用)が進み、天然資源の消費が少なくなっています。



6 ごみの分別収集が徹底されるとともに、効率的な廃棄物処理施設が整備され、廃棄物が安全・安心に処理されています。

10 誰もが環境に配慮した行動を取り、また地域の一員として地域の環境保全活動に積極的に参加しています。

11 県内のもづくり産業の持つ技術や地域資源を活用した環境関連製品が開発されるとともに、それら環境負荷の少ない製品が消費者に選ばれています。

7 浄化槽や下水道などの整備が進み、河川などの水質が改善されています。



8 化学物質のリスクコミュニケーションが広がり、化学物質に関する正しい理解が進んでいます。

9 県民一人ひとりが、生物多様性を含めた自然環境にふれあうことで、その重要性を認識し、保全に向けた取組が進んでいます。



エリアごとの 具体的な姿

都市 エリア

- 1** バス、電車などの公共交通機関や自転車が積極的に利用されています。
- 2** 建物の壁面緑化などの取組が進み、ヒートアイランド現象の緩和にも役立っています。
- 3** 都市から大量に発生する廃棄物が資源・エネルギーとして有効活用されています。

- 4** 地域ぐるみでごみのポイ捨て防止などに取り組み、まちの美観や清潔感の向上に結びついています。
- 5** 他のエリアにおける生物多様性を含めた自然環境の保全とふれあいにつながる取組に参加しています。
- 6** 他のエリアの住民との交流のもと、他のエリアで行われる環境保全活動に積極的に参加しています。



沿岸 エリア

- 1** 海ごみが発生しないよう配慮が徹底されているとともに、海ごみの回収活動が行われています。
- 2** 排水をきれいにする取組が進み、恵み豊かな瀬戸内海になっています。

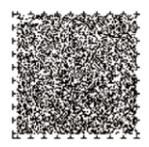
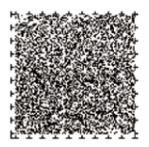
- 3** 適切な沿岸等の管理により、瀬戸内海の良好な景観が維持されています。
- 4** 他のエリアの住民参加等による瀬戸内海の生物多様性を含めた自然環境の保全とふれあいにつながる取組が進められています。
- 5** 他のエリアの住民との交流のもと、瀬戸内海の豊かな自然環境を活用した環境学習や、地域コミュニティによる自主的な里海等の環境保全活動が活性化しています。



山間 エリア

- 1** 中国山地の豊富な木質バイオマスを活用し、熱利用や発電が進んでいます。
- 2** 森林が適正に整備・管理されており、二酸化炭素の吸収源としての機能や水源涵養機能が維持されています。
- 3** 地域から発生する畜産廃棄物などが肥料等の資源として活用されています。
- 4** 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用を減らすなど、環境負荷の低減に配慮した環境にやさしい農業の取組などが進んでいます。

- 5** 適切な里地里山の管理により、自然と調和した農村景観が維持されています。
- 6** 他のエリアの住民参加等による中国山地の生物多様性を含めた自然環境の保全とふれあいにつながる取組が進められています。
- 7** 他のエリアの住民との交流のもと、中国山地の豊かな自然環境を活用した環境学習や、地域コミュニティによる自主的な里地里山等の環境保全活動が活性化しています。





1 広島の特性を生かした「低炭素社会の構築」



現状と課題

- 平成24年度の県内から排出される民生(家庭)部門の二酸化炭素の量は、平成19年度と比べて3.0%増加しています。
- 産業部門の排出量の3,995万トン、県全体の72.0%と最も大きな割合を占め、国の割合である42.9%と比較して、排出割合が高いのが特徴です。
- 今後は2020(平成32)年以降の国の新たな削減目標の国際的な合意を踏まえ、国の新たな地球温暖化対策計画に対応して、本県の地球温暖化防止地域計画を改定します。

施策の構成

1. 省エネルギー対策の推進

- 二酸化炭素排出量の削減対策の推進

2. 再生可能エネルギーの導入促進

- 本県の地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用促進

3. 森林吸収源対策の推進

- 森林による二酸化炭素吸収量の増加・確保

4. その他地球温暖化対策の推進

- フロン類対策による温暖化の防止等

2 広島の更なる3Rを進める「循環型社会の実現」



現状と課題

- 県全体の一般廃棄物排出量は、平成22年頃までは減少傾向にありましたが、近年は横ばいの状況が続いています。
- 県全体の産業廃棄物排出量は、おおむね年間1,400万トン前後で推移しています。
- 依然として後を絶たない不法投棄等の不適正処理の監視・指導を強化する必要があります。
- 地域環境と景観保全の観点から、沿岸部における海ごみ対策を推進していく必要があります。

施策の構成

1. 資源循環を基本とした社会づくり

- 一般廃棄物の3Rの推進
- 産業廃棄物の3Rの推進
- 資源循環の推進

2. 適正かつ効率的・安定的な廃棄物処理を支える社会づくり

- 一般廃棄物の適正かつ効率的な処理
- 産業廃棄物の適正処理
- 不法投棄防止対策

3 広島の良い「地域環境の保全」



現状と課題

- 大気汚染のうち光化学オキシダントは環境基準を達成できておらず、微小粒子状物質(PM2.5)の濃度が上昇する日が例年観測されています。
- 海域のCODの環境基準達成率は、低い水準で推移しています。
- 生活を豊かにする化学物質は、適正な管理による環境への負荷の低減が必要です。また工場跡地等の土壌汚染は県内でも発生しており、適切な措置を講じる必要があります。
- 優れた都市景観や田園景観などを県民の財産として次の世代に引き継いでいくことが求められています。

施策の構成

1. 良い大気環境の確保

- 大気質の保全
- 騒音・振動、悪臭の防止

2. 健全な水環境の保全・管理

- 水質の保全・管理
- 水循環の確保

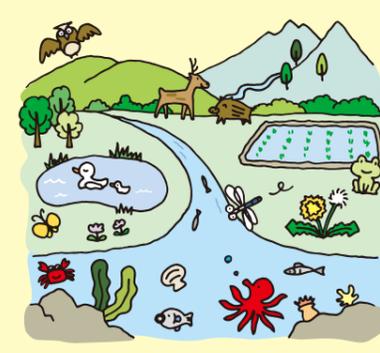
3. 化学物質による健康リスクの低減・土壌環境の保全

- 化学物質の潜在リスクの把握及び排出抑制の推進
- 土壌汚染対策の円滑な推進

4. 地域環境の維持・向上

- 総合的な環境保全対策の推進
- 環境汚染事案への対応
- 身近な緑地環境等の保全
- 優れた景観等の保全と創造

4 広島の豊かな「生物多様性の保全」



現状と課題

- 県内に生息・生育する野生生物15,314種のうち、絶滅のおそれのある野生生物として1,000種(うち19種は既に絶滅)が選定され、動物7種、植物4種が指定野生生物種等に指定されています。
- 自然公園の整備・管理を行い、自然とのふれあいの場として適正な利用を推進しています。
- 豊かな自然と歴史・文化を共有する瀬戸内海は、近年は藻場・干潟の再生などが課題となっています。

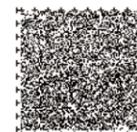
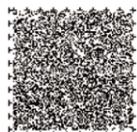
施策の構成

1. 生態系の健全な維持管理

- 豊かな恵みを次世代へ継承する取組の推進

2. 自然資源の持続可能な利用

- 多様な生態系を守り育む自然公園等の保全対策の推進
- 瀬戸内海の総合的な環境保全・創造施策の推進



5 環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」



現状と課題

- 環境負荷が少なく持続可能な社会を実現するためには、個人の行動を超えて、地域社会全体で環境活動を実践することが必要です。そのために、環境学習や環境活動を担う人材を育成し、協働取組の仕組みづくりなどが必要です。
- 省エネルギー、再生可能エネルギーにおける研究開発の促進が必要です。また、リサイクル製品の品質向上・販路拡大を推進する必要があります。
- 環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業の予測や評価を行い、環境保全対策を講じる必要があります。

施策の構成

1. 環境学習・環境活動の推進

- 環境学習と啓発活動の推進
- 自主的な環境活動を行う人づくり・仕組みづくり

2. 環境ビジネスの育成

- 環境・エネルギー関連産業の育成
- リサイクル産業の集積・育成

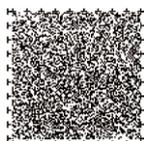
3. 環境配慮の仕組みづくり

- アセスメント手続等を通じた環境に配慮した事業の推進
- 県民・事業者による環境負荷の低減
- 県自らの率先行動

毎月第一土曜日は「ひろしま環境の日」



月	みんなで取り組む一斉行動
1月第一土曜日	やってみようエコな買い物! ～使い切れないものは買わず、必要な分だけ購入～
2月 "	やってみよう省エネ生活! ～暖房の設定温度は20℃以下～
3月 "	やってみよう省エネ生活! ～電化製品は主電源を切り、待機電力を減らそう～
4月 "	やってみようエコドライブ! ～ふんわりアクセル(発進時に5秒間で20km/h)～
5月 "	外出時は自転車や公共交通機関を利用しよう!
6月 "	買い物にはマイバッグを持参しよう!
7月 "	やってみよう省エネ生活! ～不要な照明は消そう～
8月 "	やってみよう省エネ生活! ～エアコンの設定温度は28℃～
9月 "	やってみよう省エネ生活! ～こまめに水を止めよう～
10月 "	買い物にはマイバッグを持参しよう!
11月 "	やってみようエコドライブ! ～ふんわりアクセル(発進時に5秒間で20km/h)～
12月 "	やってみよう省エネ生活! ～できるだけ階段を利用しよう～



広島県環境県民局環境政策課

〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL (082)513-2911 FAX (082)227-4815
メールアドレス kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

詳しくは広島県の環境情報サイト「ecoひろしま」をご覧ください。

ecoひろしま

検索

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/>